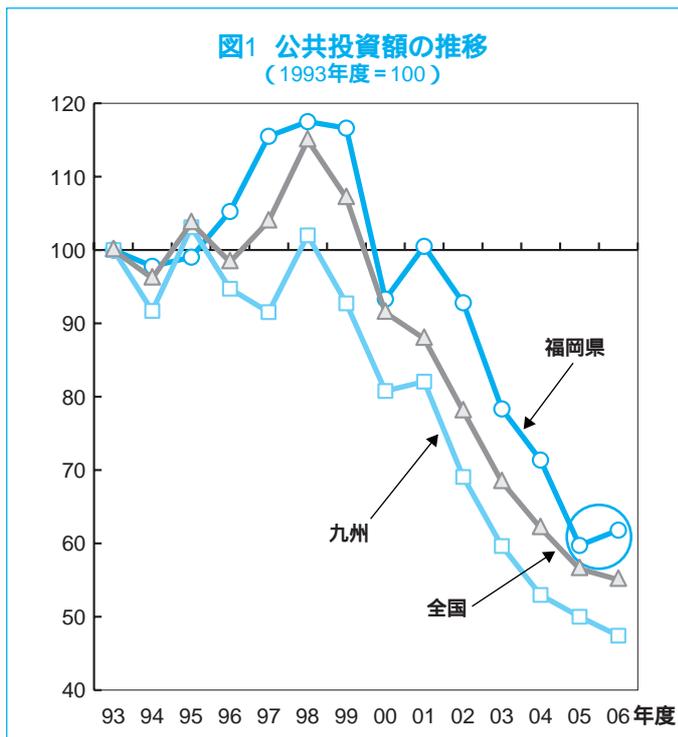


## 増加に転じた福岡県の公共工事

近年、公共工事の減少が続いていましたが、福岡県では大型工事が集中した事もあり、全国に先駆けて低下が止まっています。此处ではその状況を「九州の公共工事動向」(西日本建設業保証(株))によりみてみます。

図1 公共投資額の推移  
(1993年度 = 100)



### 福岡県は5年ぶりに前年度を上回る

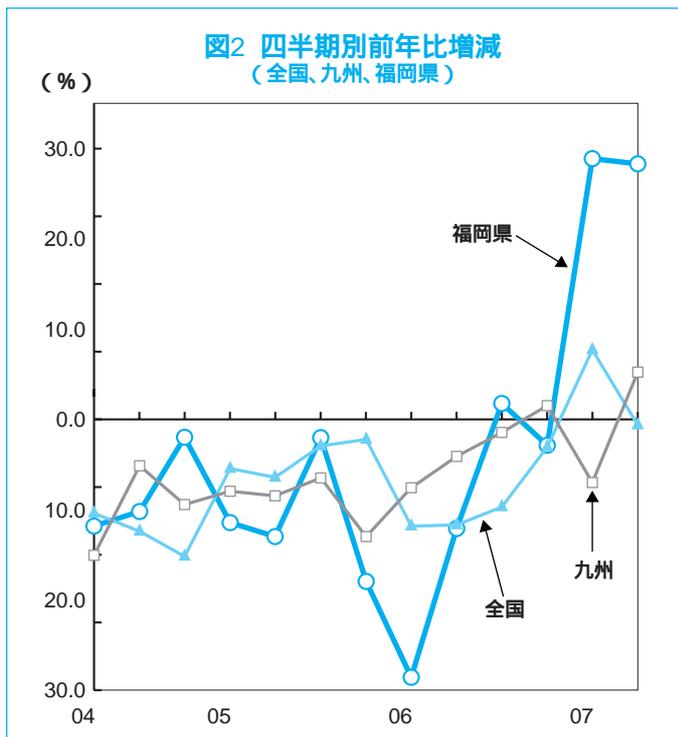
図1は全国、九州、福岡県の公共投資額を1993年度を100とした指数で見たものです。全国、九州、福岡県とも、98年度をピークに低下傾向が続き、06年度はいずれも98年度のほぼ半分の水準にまで低下しました。ただ、06年度も全国、九州では低下が続いたのに対し、福岡県では増加しました。

### 伸びたのは07年に入ってから

図2は全国、九州、福岡県の公共投資額の四半期別に前年同期比の推移を見たものです。福岡県が増加したのは07年 期からで、2四半期連続で前年比28%超の増加となりました。

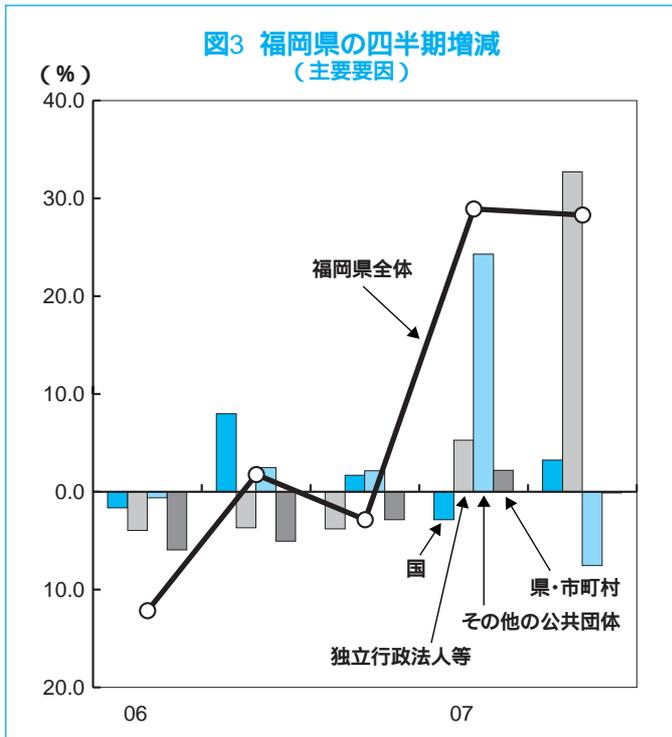
公共工事は予算との関係から年度で発注される事が多いため、年度単位で集計しますが、07年度となる07年 期も増加している事から、福岡県の公共工事は07年度も増加が続くと思われます。

図2 四半期別前年比増減  
(全国、九州、福岡県)



### 独立行政法人等の大型工事で伸びたが、地方自治体の発注も下げ止まる

図3は、期ごとに発注者別の前年比増減寄与度をみたものです。07年 期は「その他の公共的団体」が福岡都市高速道路5号線工事で伸び、 期は「独立行政法人等」が伸びました。福岡県内での九州新幹線の工事が本格化した事が主な要因ですが、北九州で環境関連の

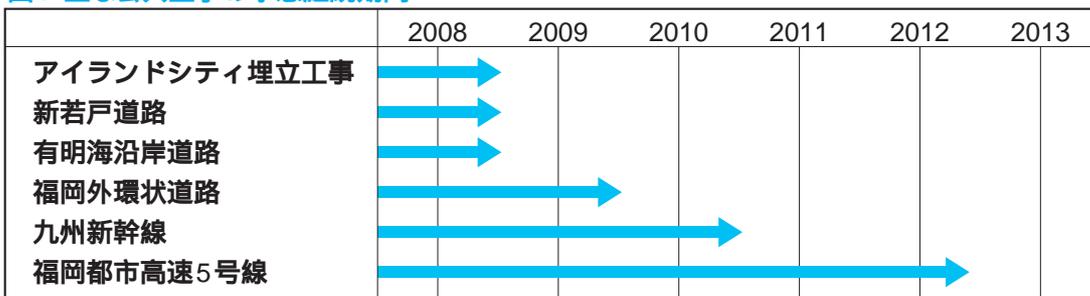


大型設備の発注もありました。また、07年 期は「国」も伸びています。福岡市の福岡外環状道路、北九州市の新若戸道路、県南地区の有明海沿岸道路など県内各地で道路の建設が続いている事によります。また、伸び率は高くありませんが、これまでは減少が続いていた「県・市町村」が増加に転じました。「県・市町村」は事業主体の数が多いうえ、大型工事が少ない事から項目を上げるのは難しくなっていますが、生活に密着した多くの業務を行っており、06年度は県全体の工事額の62%を占めていました。また、99年度からの公共工事の減少の過程では、財政が悪化し、最も減少した事業主体でもあったことから、今後の県全体の公共工事の行方を占う上から注目されます。

### 地場産業の振興に繋がった公共工事

現在、福岡県内では多数の大型プロジェクトが進行中ですが、これらの工事の継続期間についてみたのが図4です。

**図4 主な公共工事の予想継続期間**



現在進行中のプロジェクトである事から、多くのプロジェクトが08年から09年にかけて完了する予定となっています。

これらを受け継ぐものとして期待されているのが、自動車関連のプロジェクトです。年間製造台数150万台が視野に入るなど、九州北部の自動車生産は急速に拡大しています。この中、福岡県への自動車関連の工場進出が増加しています。車体組立工場だけでなく、エンジン、自動車用鋼板、タイヤなどの製造工場の建設が始まっています。道路関係のインフラの整備が部品工場の立地を推進していますが、進出業種はメーカーだけでなくソフトウェアへも広がっており、地場経済全体の振興にも繋がってきています。 (中村)

資料:「九州の公共工事動向」(西日本建設業保証(株))、「九州データブック」(西日本新聞社)